（様式３）

５　今年度の重点課題（学校アクションプラン）

<table>
<tr><td></td><td colspan="2">平成２８年度高岡南高校アクションプラン　－１－</td></tr>
<tr><td>重点項目</td><td colspan="2">進路支援</td></tr>
<tr><td>重点課題</td><td colspan="2">（１）３年間を通して挑戦する気持と諦めさせない心を育成するとともに、全校協力態勢のもと粘り強く最後まで指導し、生徒の第一志望校（願書出願をした大学の中で最も行きたい大学）合格を支援する。
（２）　一人一人の生徒を理解して実態を的確に把握した上での学習習慣の育成や進路指導が重要という意味で、面接指導の充実を図る。</td></tr>
<tr><td>現　　状</td><td colspan="2">生徒の持っている素質や能力からすると、十分に生かされたとは言い難い進路結果である。安易な方向に流れて学習が継続できなかったり、目標を諦めるのが早く最後まで挑戦する気持を持ち続けられない生徒が少なくない。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">達成目標</td><td>（１）生徒の第一志望校（願書出願をした大学の中で最も行きたい大学）合格率</td><td>（２）生徒１人あたりの面接実施回数
（担任、副担任、授業担当者）</td></tr>
<tr><td>卒業生数の６５％以上</td><td>１・２年生：６回以上
３年生　　：１２回以上</td></tr>
<tr><td>方　　策</td><td colspan="2">（１）学習時間のスタンダードは、＜平日：1年・2時間、2年・3時間、3年・4時間＞＜休日：1年・4時間、2年・6時間、3年8時間＞とし、全体に周知を図りながら学習時間を位置づけた生活習慣を身につけさせる。なお、３年生は体育大会後は平日5時間、休日10時間を標準とする。
（２）１年生の初期指導を重視する。また、面接週間以外に校外模試の自己採点時での面接を必須とするなど面接指導を通して生徒の気持ちを前向きにさせる。
（３）高い志望校の設定を指導しながらそれを貫かせるように支援する。また、そのことを通して挑戦する気持と最後まで諦めない心の育成を図る。
（４）校内外テストの成績状況や結果を分析し、今後の指針となるような資料を作成するとともに校内全体で各学年の情報を共有できるよう努める。
（５）３年生の進路支援を全校協力態勢を確認しながら充実を図る。特に、センター試験後の２次試験対策を強化し、生徒の第一志望校合格を支援する。</td></tr>
</table>

（　）評価基準　Ａ：達成した　Ｂ：ほぼ達成した　Ｃ：現状維持　Ｄ：現状よりわるくなった

	平成２８年度高岡南高校アクションプラン　－２－
重点項目	学校生活
重点課題	自主自律の精神に満ちた品格のある生徒集団の形成
現　　状	礼儀、時間厳守、身だしなみなどの点で、南高校生とふさわしい品格が身についていない生徒がいる。多くの生徒が主体的に関われる活動が少なく、やや停滞している活動が一部見受けられる。
達成目標	（１）礼儀、時間の厳守、身だしなみを中心に、南高校生としてふさわしい品格が身についていると感じている生徒の割合の増加 （２）学校生活に主体的に取り組んでいると感じている生徒の割合の増加
方　　策	（１）日頃の登校指導や声掛けの中で、あいさつ・身だしなみ、時間厳守等の意識の向上を図る。 （２）部会の定例化や学年との連携を密にすることで、現状の学校生活の問題点や情報を共有しながら、凡事徹底がはかれるよう日常的に互いを尊重し協力して指導する。 （３）服装頭髪指導や自転車鍵かけ点検などを定期的な全体指導のみならず、日頃から継続して学校全体で指導する。 （４）生徒が主体的に校訓の理念を理解し、それにふさわしい行動が出来るよう、生徒会執行部や校紀委員会を中心に学校生活のさらなる充実につながる活動を行う。 （５）各行事の目的、テーマの明確化にし、できるだけ多くの生徒が企画、運営に関われるように工夫する。 （６）外部講師や保護者から着こなしやマナーについて指導していただく機会を設ける。（マナーセンスアップ教室、さわやか運動など）

（　）評価基準　Ａ：達成した　Ｂ：ほぼ達成した　Ｃ：現状維持　Ｄ：現状よりわるくなった

	平成２８年度高岡南高校アクションプラン　－３－
重点項目	学校の活性化
重点課題	①教員の授業力等の資質向上 ②将来の大きな志を持ち、意欲的に学び活動する生徒の育成 ③地域との協働・連携による開かれた学校づくり
現　　状	平成２７年度の実績 ①互見授業（１回)、授業活性化委員会（３回)、学校課題小委員会（３回） ②キャリデザイン・プロジェクトＳの実施 ③土曜授業での公開授業（２回）
達成目標	①教材や指導法に関して工夫が感じられる授業・満足度の割合（８０％以上）
	②キャリアデザイン・プロジェクトＳの実践により自己のあり方や生き方が明確になることで今の学びに意義を見いだし、学習意欲がさらに向上した生徒の割合（９０％以上）
	③本校の教育活動への理解を深める情報提供がされていると感じている保護者等の割合（８０％以上）
方　　策	①・質の高い授業づくりを目指し、研修や自己研鑽の機会の充実を図る。 ・校内授業研究及び公開研究授業等を通して授業改善を推進する。 ②・キャリアデザイン・プロジェクトＳに対する生徒の満足度及び日常の学習活動や社会規範意識をふまえ、生徒自身が自己の成長及び成果を継続的に振り返り自己評価する。 ③・土曜授業やホームページを利用して本校の広報活動の内容をさらに充実させる。 ・学校外の人的資源をキャリア教育、講演会等に活用する。

（　)評価基準　Ａ：達成した　Ｂ：ほぼ達成した　Ｃ：現状維持　Ｄ：現状よりわるくなった。

	平成２８年度高岡南高校アクションプラン　－４－
重点項目	生徒の主体的な活動
重点課題	生徒が委員会活動の中で、現状を踏まえ必要とされる仕事や行事などを企画し、運営することで、高校生活の充実を図る。
現　　状	（１）現状に慣れ、清掃美化意識がなかなか高まらず、環境改善に結びつかない。 （２）広報紙の発行や図書館行事は行っているものの、委員以外の生徒の関心が高まらず、参加者の拡大につながらない。
達成目標	（１）保健環境委員による美化週間を、学期に１回は設ける。 （２）図書委員による広報活動を、月１回以上は行う。
方　　策	（１）委員会や打ち合わせを丁寧に行い、委員の自覚を促す。 （２）美化週間について、生徒会執行部に企画し、ホームルーム役員と協力し、活動意識を高める。 （３）図書委員が、毎月広報プリントを作成し、全生徒に配付する。図書館行事の案内ポスターを作成・掲示し、行事への参加を呼びかける。

(　)評価基準　Ａ：達成した　Ｂ：ほぼ達成した　Ｃ：現状維持　Ｄ：現状よりわるくなった